翁杉(訳注：英語では老人の杉と説明）

かつて巨大で、堂々たる姿をしていた翁杉。樹齢は約2000年と考えられています。もともとは23.7メートルの高さの木でしたが、根本で重さを支えることができず、また腐敗が原因で内部のおよそ90%が空洞化したこともあり、2010年9月に倒れてしまいました。

(現在は)周囲12.6メートルの中空の切り株だけが残っています。

翁杉は、縄文杉へと通じる大株歩道にあります。入口からの所要時間は約30分で、ウィルソン株まで約200メートルです。